指定管理業務評価結果書

1. 施設の名称等

(1)公の施設の名称	鶴山公園	
(2)指定管理者	所在地 津山市山下97番地の1	
	名 称 公益社団法人津山市観光協会	
	代表者 代表理事 竹内佑宜	
(3)公の施設の所管部署	津山市 都市建設部 公園緑地課	
(4)指定期間	平成29年4月1日から平成34年3月31日	
(4)評価対象期間	平成29年4月1日から平成30年3月31日	

2. 施設の利用状況

(1)利用者数等	公園入園者数175,415人 (前年度入園者数160,064人)
	備中櫓入館者数 64,668人
(2)事業の内容	・津山さくらまつり(4月1日~15日) 93,960人
	・花火の観覧席 約 500人
	・津山お城まつり(ご当地グルメフェス&美作国大茶華会) 7,336人
	・牛うまっ王選手権 7,000人

3. 収支の状況

(1)収入 (指定管理者の収入)	総額 利用料金収入 指定管理料 事業収入	61, 984千円(前年度 58, 808千円) 40, 396 千円 19, 100 千円 2, 488 千円
(1)支出 (指定管理者の支出)	総額 主な支出 人件費 光熱水費 修繕・消耗品費等 委託料(施設管理) 負担金・公租公課 事業費(利用促進) その他	61,898千円(前年度 58,808千円) 32,805 千円 2,573 千円 8,928 千円 9,808 千円 3,338 千円 2,708 千円 1,738 千円

4. 総合評価結果

4. 総合計価結果	
(1)アンケート調査の概要	 ・本年度も、全国100名城やお城めぐりなどのツアー客が多かった。 ・年々インバウンドの観光客が増加している。(特にアジア系が多い) ・さくらシーズン以外の来園者には備中櫓が好評であった。 ・引き続き名城100選など積極的にPRし全国各地からの入園者を誘客する。
(2)指定管理者の自己評価	 ・毎年津山さくらまつり期間中10万人を目標にしているが今年も94,000人弱で目標に届かなかった。 ・5月ゴールデンウィークにはご当地グルメ(津山和牛PR)そして秋には津山お城まつりを開催し入園者増に努めた。 ・本年度は翌年3月末にさくらが開花し、前倒しで花見客が非常に多かった。 ・年間を通じて入園者が増えるような対応が必要であるが、城跡のため階段があり高齢者には敬遠される傾向があり、登りやすくする工夫が必要である。 ・特に城壁は素晴らしいものがありもっと積極的にPRする必要がある。 ・今年は樹木に名称の名札を設置するなど来園者にわかりやすい対応に努めた。
(3)市の評価	 ・さくらまつりは、開花時期や天候にも恵まれ、概ね良好に開催された。 ・施設の管理運営、設備の維持管理は、適正に実施されている。 ・鶴山公園は城跡であり、石段石垣が存在しているため、事故防止や避難誘導に関する訓練を毎年実施されたい。 ・施設利用を促進するため様々な自主事業に取り組み、宣伝広報に努め入園者数の増加を図っている。 ・樹種の銘板を設置するなど入園者の要望に応えるべく努力されている。 ・本市を代表する観光資源であることから、長年の管理運営に関するノウハウを活用し、さらに施設の価値を高める取り組みを期待する。